



中島校区地域福祉活動計画の策定を実施しました！

中島校区社協では、令和5年度にふれあい対象者に、生活上の困りごとを把握するアンケート調査を実施しました。調査結果と活動者同士の話し合いで出た意見を元に令和6年度に中島校区地域福祉活動計画を策定し、現在2つの活動目標を立て、達成に向けて活動を行っています。

計画策定までの流れ

①ふれあい対象者に対して、日常生活に関するアンケート調査を実施

②アンケートの集計結果をもとに、地域の課題や取組事項についての話し合い

③計画策定！
目標達成に向けて、活動を継続

目標① 校区社協の活動に協力してくれる担い手を増やそう

現状と課題

- ・ 地域活動の担い手の高齢化や固定化が進んでいる。
- ・ アンケートの結果、地域の中に軽微な困りごと（電球交換、家具の移動等）を抱える方が多くいる。

対応策と今後の活動

- ・ 中島校区内のふれあい対象者の小さな困りごとに対応するための体制づくり、ボランティアの募集に向けて準備中！
- ・ 活動を通して、中島校区の地域活動に関わってくれる人を増やしていきたい！



話し合いの様子

目標② 地域住民が集える場づくりを進めよう

現状と課題

- ・ コロナ禍以前までは、公民館でお茶のみをするような会があったが、現在は集まる場が減ってきている。
- ・ 地域住民が集える場が求められているが、それらを率先して実施、企画してくれる人がなかなかいない。

対応策と今後の活動

- ・ 高齢者が集まれる、サロンのようなものができるように、自治会ごとに実施している『小地域福祉ネットワーク懇談会』等を通して働きかける。



校(地)区社協関係者への研修会を実施しました！

校(地)区社協関係者を対象に「地域福祉推進委員の役割」「住民主体の生活支援サービス」「ひきこもり状態にある方やその家族への支援を考える」「地域福祉活動の取組発表と情報交換」テーマ別に計4回開催し、会場参加者・オンライン(ZOOM)参加者あわせて延べ224人の方にご参加いただきました！テーマ②では、近年社会問題になっている「ひきこもり」に関する研修を行いましたので、概要を紹介します。

テーマ② ひきこもり状態にある方やその家族への支援を考える



これまでの福祉課題は、「高齢者」「障がい」「子ども」等分野ごとに分かれていました。近年では、「8050問題」や「ダブルケア」等、制度や分野を超えた複合的な課題が増え、包括的な支援体制の整備が必要になっています。

本研修会では『「ひきこもり」をきちんと知る』をコンセプトに、基礎知識や支援の方法などについて、特定非営利活動法人 おおいた子ども支援ネット 理事長 矢野 茂生氏をお招きし、お話を伺いました。



ひきこもりの基礎知識

● 「ひきこもり」とは？

様々な要因の結果、社会的な参加（学校に行く、仕事に行く等）を回避して、その状態が6か月続いている状態。「ひきこもり」は障がいや病名ではなく、状態を指している。

● 「ひきこもり」の当事者が求めている支援（東京都江戸川区の調査より）

「何も必要ない、今のままで良い」が一番高い割合となっている。ひきこもりの当事者とその家族の願いに違いがある！

支援現場から感じること

● 「連携」「つなぐ」は、
実は専門職や専門機関が最も苦手
専門職や専門機関はどうしても縦割りや縄張りがある。地域住民同士のつながる力を貸してもらいたい！

● 「支援者のニーズ」と「相談者のニーズ」
早く解決をしていきたい「支援者のニーズ」が必ずしも「相談者のニーズ」とマッチしているわけではない。「相談者のニーズ」に寄り添い、支援を進めていく必要がある。



悩みに寄り添い、市社協と一緒に考えます (アウトリーチ等を通じた継続的支援事業、参加支援事業)

- ・ 長期にわたるひきこもり状態にある
- ・ 本人は困っていないようだが、支援が必要ではないかと心配している 等々

→ 「アウトリーチ等を通じた継続的支援事業」で、支援が届いていない人に支援を届けます！

- ・ 退職後、地域活動や通いの場に参加したいが、地域との接点がなくどうすればよいか分からない。
 - ・ 病気をしてから外に出る機会が減ったが、何か地域で活動したい 等々
- 「参加支援事業」で地域とのつながり作りを支援します！



地域の中に、お困りの方やひきこもり状態にある方等いらっしゃいましたらお知らせください！

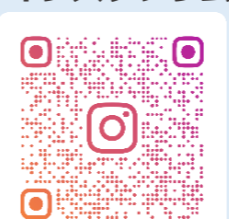
お問合せ先
大分市社会福祉協議会
ホルトホール大分4F 547-7418
佐賀関事務所 575-3456
野津原事務所 588-1151

地域の活動を発信しています！

Instagramやフェイスブック等のSNSを活用して、市社協が実施している活動や地域での活動の様子などを発信しています。QRコードを読み込み、ぜひのぞいてみてください！



Instagram



フェイスブック



大分市社会福祉協議会

サロンとボランティアのつながりの場づくり！

ありがとうございました

令和6年10月7日（月）に、J：COMホルトホール大分（小ホール）で、「超ふくしまつり」を開催しました。地域ふれあいサロンの作品展示や活動内容のポスター展示、市社協に登録いただいているボランティアの方々の活動発表や体験ブース等を行いました。当日は、約280名の方に足を運んでいただきました。

ふれあいサロンのポスター・制作物展示

大分市内のサロンの内120か所のサロンに活動内容をまとめたポスターを作成していただき、展示を行いました。

また、サロンで制作している縫い物の作品や飾りなどを14サロンから合計約170点、展示させていただきました。



サロン名	虹の会勢家	活動の様子
会員数	35人	平成17年度
サロンのテーマ	サロンにあることが元気の源 / 歌って笑って楽しく過ごそう！	
主な活動内容	・誕生日のお祝い ・福引・クイズなどを実施して、みんなが楽しんでいます ・少人数で作り、小学校委員の持ち回り、折り紙工作等	
サロンのPR	事務局の1丁目～4丁目の会費と、月と曜日の公平の会費で楽しく活動しています	

展示されたポスター

「堂園おしゃべりサロン」で作成した、河童がお出迎え



ボランティアの活動発表・体験ブース

当日は、ステージイベントとして、市社協に登録いただいている4団体のボランティアの方々より、ダンスやスコップを活用した演奏等をしていただき大変盛り上がりました。また、ボランティアの方々による体験ブースでは、ロープワーク体験や折り紙教室、手話教室なども実施していただきました。



来場者の声

- ・ 大変良かった。また参加したい。
- ・ 続けてほしい。2回目を楽しみにしている。
- ・ 各種発表で色々な活動を知ることができて良かった。参考にしたい。
- ・ 展示物の作り方を教えてほしい。
- ・ 他サロンと活動状況を話し合えるコーナーがほしい。



佐賀市校区（地区）社協のみなさんと意見交換しました！

佐賀市の校区（地区）社会福祉協議会は、概ね小学校区を単位に配置され、地域の福祉課題やニーズをとらえ、地域の「つながり」を活かし地域の実情に即した地域福祉活動に取り組む住民主体の組織です。現在、29の校区（地区）社会福祉協議会が設置され、地域の実情に即した小地域福祉活動に取り組んでいます。

令和7年1月10日に計27名の方々が来県され、地域での集いの場づくりの活動や多世代交流の活動などについて意見交換を行いました。大分市からも、地域での集いの場や多世代交流の活動を活発に行っている、春日校区社会福祉協議会とボランティア金池の活動者の方にご参加いただき、活発な意見交換を実施しました。



佐賀市校区地区社協の皆さん
ありがとうございました



どのような経緯で子ども食堂を始められたんですか？

最近、寺子屋を立ち上げたから、アドバイス欲しいな

春日校区 ～寺子屋かすが～

寺子屋かすかは、春日校区社協が実施しており、夏休みの6日間（午前中）、小学校4～6年生の子どもたちに学習の場を提供するために、校区内の公民館やお寺等（6か所）を活用して実施しています。見守りや質問対応等を地域のボランティア中心に行っています。令和6年度は、延べ314人の小学生が参加しました。当日は、春日校区の宮崎さんと赤木さんにご参加いただきました。



春日校区
民児協会長
宮崎 さち子氏

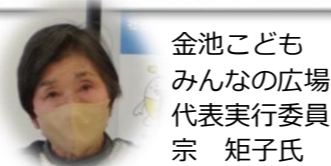


春日校区
主任児童委員
赤木 智子氏

ボランティア金池 ～金池子どもみんなのひろば～



金池子ども・みんなのひろば、ボランティア金池が月2回実施しており、子どもだけではなく高齢者も集まれる場になっており、ボランティアの方が作ったお弁当をみんなで食べています。食事だけではなく、上野の森の探索や地域の方によるオカリナの演奏など、さまざまな活動も行っています。当日は、ボランティア金池の宗さんと野村さんにご参加いただきました。



金池子ども
みんなの広場
代表実行委員
宗 矩子氏



ボランティア金池
野村 敦子氏

【お問い合わせ先】大分市社協 地域福祉課 地域福祉係

☎ 547-7418 ✉ tfukusi@oita-syakyo.jp